

千葉大学産学官連携活動の実用化事例

実用化事例のタイトル

世界初「青色」コチョウランを商品化

概要

・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

コチョウランには、白、ピンク、黄色等様々な色の品種があるが、「青い」品種は存在しなかった。これはコチョウランが青色色素（デルフィニジン型アントシアニン）を作る遺伝子（青色遺伝子）を持たない植物種であるためである。

・成果

元々デルフィニジンを作る能力のないコチョウランに青色遺伝子を適用する研究を、千葉大学と石原産業(株)の共同で開始し、見事に青色コチョウランの開花に成功した。

・実用化まで至ったポイント、要因

国立大学唯一の園芸学部である千葉大学園芸学部と、石原産業(株)は様々な実験、試行錯誤を行い、それぞれが得意分野を分担しながら検証を進めたことが実用化に成功した要因となる。

・研究開発のきっかけ

コチョウランへの遺伝子導入に向けて、石原産業(株)から千葉大学大学院園芸学研究院 三位正洋元教授への協力依頼により共同研究が始まった。

・民間企業等から大学等に求められた事項

石原産業(株)は青色コチョウランの開発に取り組んでおり、本学は青色遺伝子導入による青色コチョウランの開発成功を求められた。

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

ツユクサの青色遺伝子の導入に成功して誕生した、唯一無二の青色のコチョウラン

図・写真・データ



・ファンディング、表彰等

・ジャパンフラワーセレクション2022 鉢物部門春審査会 受賞

ベスト・フラワー優秀賞、ブリーディング特別賞、カラークリエイティブ特別賞、モニター特別賞 春（人気投票1位）

・2022 F&Gジャパンセレクション来場者人気投票 グランプリ 鉢物部門 第1位

・参考URL：<https://www.iskweb.co.jp/bluegene/index.html>